

C.A.T.

取扱説明書

警告

| | |
|----------|--|
| • 18歳以上用 | ・この製品は対象年齢 18歳以上です。 |
| • ケガ注意 | ・この製品は BB 弾をおよそ 50m 以上先に到達させる威力があります。 誤った使用はケガや失明につながる場合がございます。 |
| • 説明書必読 | ・ご利用前に、必ず当説明書をよく読み、機能や注意点をご理解いただいた上でお取り扱いください。 |

目次

| | |
|---------------------------|-------|
| はじめに | …p.2 |
| ■C.A.T. 電動ガンの特徴 | |
| 準備と注意事項 | |
| ■必ずご理解ください | |
| ■C.A.T. 推奨 BB 弾とバッテリーについて | |
| ■エアソフトガン取扱上の注意 | …p.3 |
| ■バッテリー取扱上の注意 | |
| 構造について | …p.4 |
| ■各部位の名称と機能の概要 | |
| 射撃について | …p.5 |
| ■バッテリーの接続 | |
| ■セレクターとトリガーの操作 | |
| ■HOP 調節 | …p.6 |
| ■サイトの調節 | …p.7 |
| ■プリコッキングについて | …p.8 |
| ■プリコッキング調節と解除の手順 | …p.9 |
| ■使い終わったら | …p.12 |
| お手入れ、その他の調節について | |
| ■バレルの清掃方法 | |
| ■モーター位置の調節について | |
| ■ストックの調節とカスタマイズ | …p.13 |
| 困ったときは、その他 | …p.14 |
| ■トラブルシューティング | |
| ■故障かなと思ったら | …p.17 |

■C.A.T. 電動ガンの特徴

C.A.T. 電動ガンは様々なエアソフトシーンに柔軟に対応し、かつ上質な射撃アクションを体験できるように開発されました。

最大の特徴は、完全新規開発された MAP セクターギアによる機械式可変プリコッキング機構を搭載することで、従来の電動ガンの弱点であった、トリガーを引いてから実際に射撃が行われるまでのタイムラグを大幅に短縮し、撃ちたいという意思をダイレクトに反映させることができます。

また、IWS トリガー for V2 Micro はトリガーのショートストローク化と引きやすいデザインにより、C.A.T. の射撃体験をより引き立てます。

その他、モジュラー構造の MPS ストックは用途に応じて組み換えられ、ストック基部は高さ調節や折りたたみにも対応しております。

是非、C.A.T. と共に良いエアソフトライフをお楽しみください。

準備と注意事項

■必ずご理解ください

電動エアソフトガンはプラスチック製の BB 弾を約 90m/s(時速 324km) 前後で発射し、50m 以上先へ到達させる能力を有します。

発射された BB 弾が対象に当たった場合、以下の損害が発生する恐れがあります。

- ・人間：ケガ、失明及び後遺症の残る傷害
- ・動物：ケガ、失明及び死亡に至る傷害
- ・物品：傷、破損による損害

また、上記の結果により、所有者や取扱者（射手）には以下の責任が発生します。

- ・法的責任の発生（逮捕、服役）
- ・金銭的賠償責任の発生（損害賠償、慰謝料）
- ・社会的責任の発生（社会的地位の失墜）

以上のように、僅かな気の緩みや不注意により、自他ともに取り返しのつかない事態に陥る可能性がございます。

従って、以降の注意事項を必ずご理解の上、安全にお取り扱いください。

■C.A.T. 指定 BB 弾とバッテリーについて

C.A.T. 電動ガンでは以下の消耗品をご利用ください。

- ・BB 弾 : 東京マルイ製、もしくは G&G 製 BB 弾（バイオ弾含む）
- ・バッテリー : 電動ガン用 7.4V Li-Po バッテリー（保証書記載スペックに準拠）

※上記以外の消耗品をご利用の場合、保証対象外となります。

※詳しくは付属の保証書を必ずご確認ください。

■エアソフトガン取扱上の注意

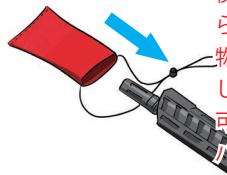
使用時、保管時など以下を必ずお守りください。

ターゲット以外を撃たない



電動ガンは生物や器物に危害や損傷を与える威力を有します。適切なターゲット以外を撃つと犯罪になる場合があります。

銃口の安全対策の徹底



使用時、保管時に関わらず銃口が人や動物、物品に向かないようにしましょう。可能であればマズルカバーを使いましょう。

人間の安全対策の徹底



使用時は必ず眼の保護具を装着してください。サバイバルゲームを行う時は可能な限り顔を保護してください。

未使用時の安全対策の徹底



使い終わったら弾を全て抜き、マガジンやバッテリーを外して動作しない状態にし、適切な場所に保管してください。

■バッテリー取扱上の注意

リポバッテリーの取扱、管理には以下を必ずお守りください。

Li-Po 専用充電器を使う



必ず Li-Po 専用の充電器を正しく使ってください。Li-Po 以外の充電器を接続すると火災に繋がる恐れがあります。

過充電厳禁



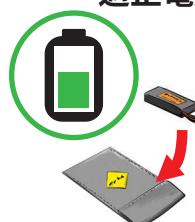
充電時、絶対に過充電にならないよう、充電機器の説明書をよく読み注意・監視の元充電作業を行ってください。

過放電厳禁



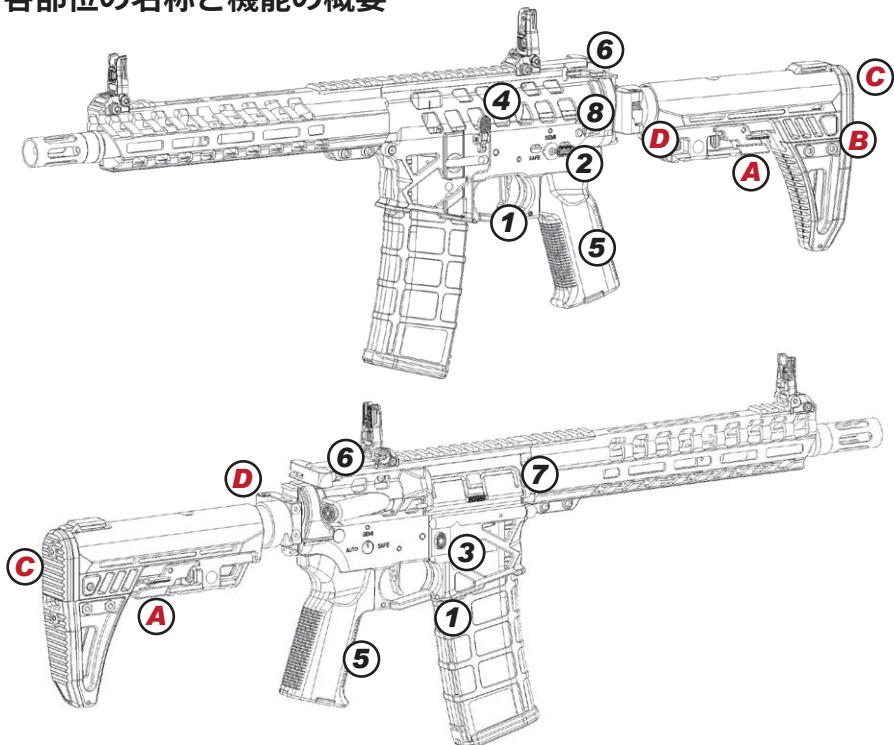
残量が少ない状態での放電は厳禁です。残量が少ない場合は、直ちにストレージ電圧まで充電を行ってください。

適正電圧での保管



Li-Po は約半分の容量が (1 セル約 3.8V) がストレージ電圧となり、保存に適します。常温の安全な場所に保管してください。

■各部位の名称と機能の概要



| | | |
|-----|-------------|--|
| (1) | トリガー | 引くと射撃動作が行われます。 |
| (2) | セレクター | 安全装置を兼ね、射撃モードを選択します。 |
| (3) | マガジンキャッチボタン | マガジンの脱着を行います。 |
| (4) | ボルトキャッチレバー | HOP 調節の際のボルトカバーを保持、戻します。 |
| (5) | グリップ | 基部にピストンリリースレバーがあります。 |
| (6) | チャージングハンドル | HOP 調節の際にボルトカバーを開くほか、 テイクダウンの際に操作します。 |
| (7) | エジェクションポート | 中にHOP 調節ダイヤルがあります。 |
| (8) | テイクダウンピン | テイクダウンの際に引き抜きます。 |
| (A) | ストック調節レバー | ストックの長さを調節します。 |
| (B) | ストレージドアボタン | バッテリーストレージのドアを開くボタンです。 |
| (C) | ストレージドア | バッテリー収納部のドアです。 |
| (D) | ストックロックヒンジ | 上下操作でストックを折りたたみます。 |

射撃について

ここでは射撃に必要な準備や操作を解説します。

バッテリーの接続やトリガー操作の他、HOPによる弾道調節及びプリコッキング調節もここに含みます。

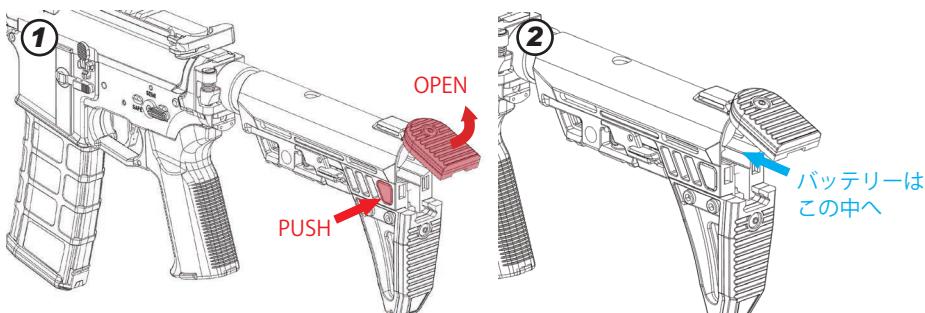
■バッテリーの接続

射撃動作のためにバッテリーを本体に接続します。

バッテリーは図のようストック内部へ収納します。

警告

バッテリーを接続する際、意図せず銃が作動してしまう可能性があります。
必ずマガジンを外し、銃口先の安全を確保した状態で作業を行ってください。

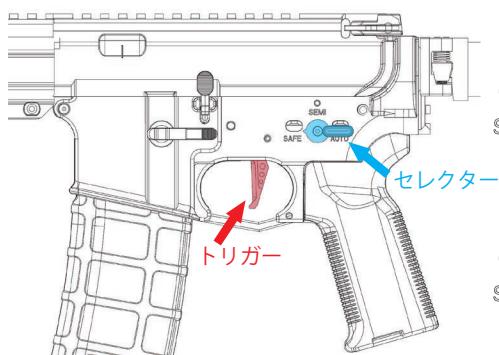


バッテリー収納の際、配線や端子が挟まらないように注意してください。

バッテリー端子はプラス・マイナスを正しく接続してください。

■セレクターとトリガーの操作

セレクターとトリガーを操作して射撃を行います。



■トリガー

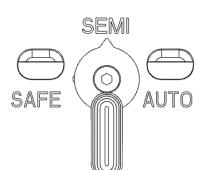
トリガーを引くと、各セレクターポジションに従った射撃が行われます。

※セミオート射撃の際は、必ず作動が終わるまでトリガーを引き続けてください。



■SAFE：安全装置

…トリガーをロックし、射撃を防止します。



■SEMI：セミオート

…トリガーを引くと、1発だけ発射されます。



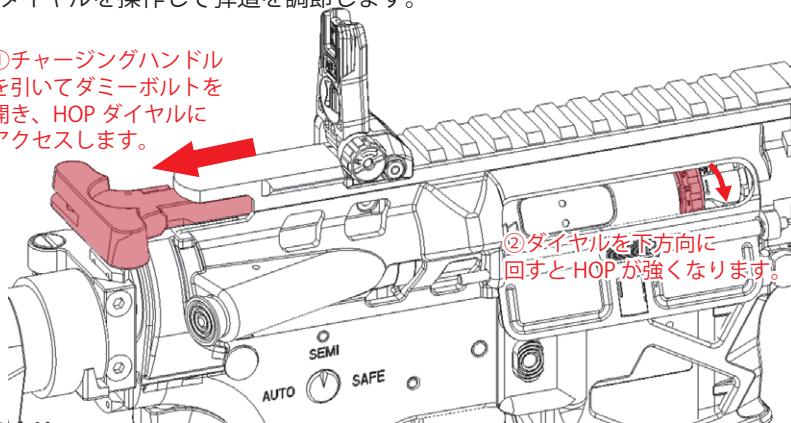
■AUTO：フルオート

…トリガーを引いている間、連射されます。

■HOP 調節

HOP ダイヤルを操作して弾道を調節します。

- ①チャージングハンドルを引いてダミーボルトを開き、HOP ダイヤルにアクセスします。

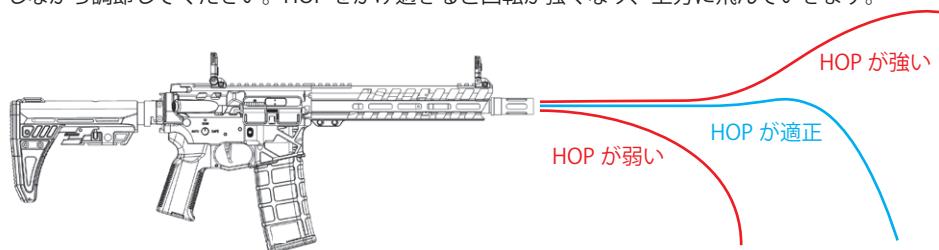


※HOP とは

発射される BB 弾に回転を与え、BB 弾に揚力を与えます。これによって BB 弾の飛距離を伸ばすことができます。

■HOP 調節による弾道の目安

HOP がかからないと BB 弾は重力により落下します。ある程度まっすぐ発射されるように試射をしながら調節してください。HOP をかけ過ぎると回転が強くなり、上方に飛んでいきます。

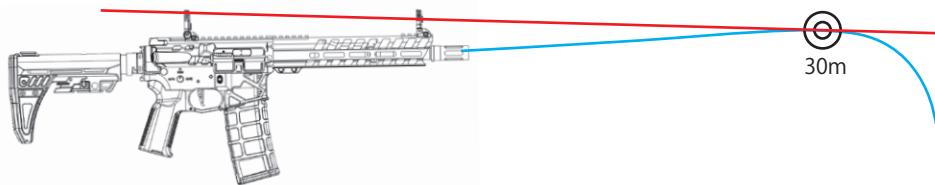


Point

- HOP がかっていない状態ではチャンバー内に BB 弾が保持されず、銃口から弾がこぼれ落ちる事があります。ある程度 HOP をかけて射撃してください。
- HOP をかけ過ぎると HOP パッキン部分での摩擦が増大し、極端に飛距離が落ちる、または弾づまりによる故障を誘発する場合がございます。

■サイトの調節

HOP 調節を行った後、サイトの調節（ゼロイン）を行います。

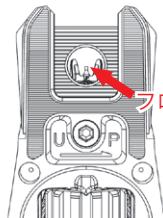


※図の例では 30m 先に概ねまっすぐ飛ぶように HOP 調節をし、サイトライン（視線）が 30m 先で交わるように調節しています。弾道と射手の視線は完全に同一にはならないため（目から弾が出るというわけではないため）、正しく着弾させるためには「弾道の調節」と、「どの距離でサイトラインを合わせるか」が重要となります。ゼロインを行った距離以外の着弾点は必ずサイトラインから上下にずれる事になります。

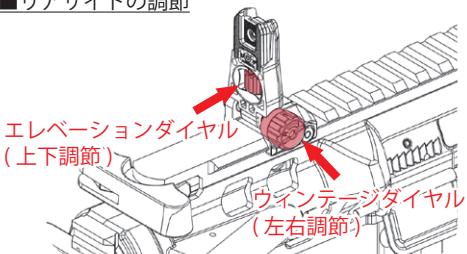
■サイトの調節方法

リアサイトからフロントサイトポストの先端が中央に来るよう覗き、試射を行います。

この時、着弾点が中央にならない場合、サイトの調節を行います。

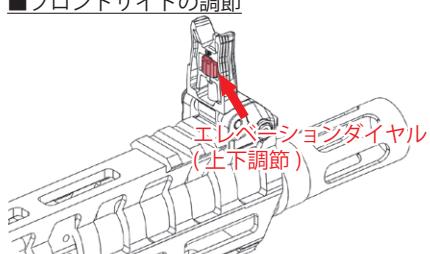


■リアサイトの調節



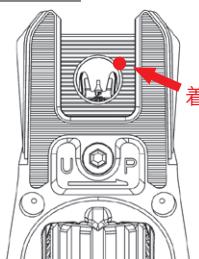
エレベーションダイヤルを UP 方向（右）に回すと着弾点が上に、ワインテージダイヤルを R 方向（時計回り）に回すと着弾点が右に修正されます。

■フロントサイトの調節



エレベーションダイヤルを UP 方向（右）に回すと着弾点が上に修正されます。

■サイト調節の例



狙点に対して着弾点が図のように右上方にずれていた場合、まずはリアサイトのエレベーションダイヤルを UP とは逆の方向に、ワインテージダイヤルを R とは逆の方向にそれぞれ調節します。

※リアサイトのみの調節で上下のずれが修正できない場合、フロントサイト側を調節、もしくは HOP 調節が適切かを確認ください。

■プリコッキングについて

C.A.T. 電動ガンはプリコッキング射撃が可能です。

プリコッキング強度は MAP セクターギアによって調節できますので、ユーザー自身で状況に応じて最適なプリコッキング強度に設定する事ができます。

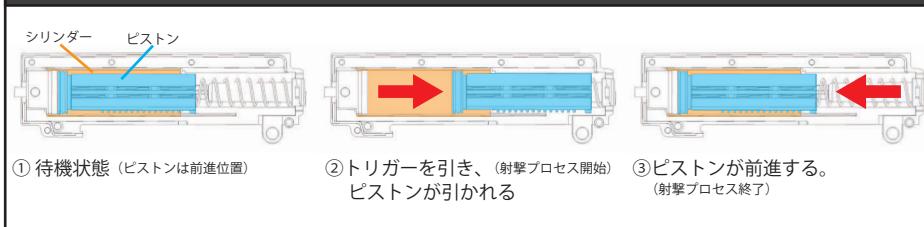
※プリコッキングとは

電動ガンのエアピストンを後退保持（コッキングした状態）で待機します。

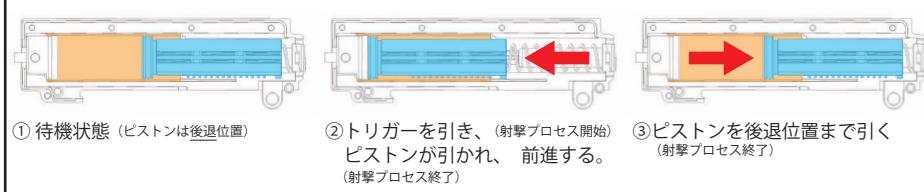
ピストンが既に引かれた状態から射撃を行える為、通常の電動ガンと比較してまるでボルトアクション式やガス式のエアソフトガンのような即応性の高い射撃が可能です。

■プリコッキングのメカニズム

一般的なプリコッキングが備わっていない電動ガンの射撃プロセス



プリコッキングが作動している電動ガンの射撃プロセス



Point

- 工場出荷時では安定性を重視した中程度のプリコッキング強度に調節されています。
 - 使用するバッテリー容量によって実際のプリコッキング量は変化しますので、より最適なプリコッキング強度を求める場合は調節を行ってください。
- ※同じ電圧 (7.4V) であってもバッテリー容量（例：2000mAh）と放電容量係数（例：30C）によって電流が変化します。電流の増減で電力 (W) が変化し、モーターの作動に影響を与えます。
- プリコッキング強度が強すぎるとセミオートのオーバーラン現象（バーストのように二重発射される）が発生します。
 - プリコッキング強度が弱すぎるとセミオートの動作が極端に不安定になります。
 - プリコッキング強度によってはセミロック現象（セミオートが撃てなくなる）が発生しやすくなります。
 - プリコッキング強度によってノズルの停止位置が不安定になる場合があり、結果として弾道に悪影響を及ぼす場合があります。

■プリコッキングの調節と解除の手順

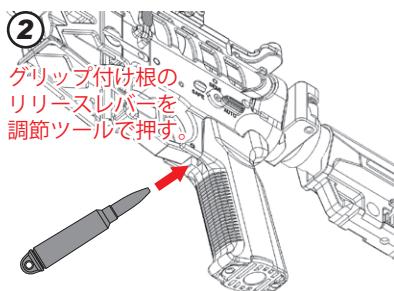
プリコッキング調節は以下の手順で行います。

- ①マガジンを外し、安全を確保した上で空撃ちを行い、バッテリーを外します。
- ②ピストンリリースレバーを操作してピストンを前進させます。
- ③調節ツールを用いてイクダウンピンをスライドします。
- ④チャージングハンドルを前方に押し、アッパーレシーバーをイクダウンします。
- ⑤調節ツールを用いてセクターギアのカム位置を調節します。
- ⑥アッパーを閉じ（セクターギアの歯の位置に注意）、イクダウンピンを挿す。
- ⑦試射を行い、発射タイミングや弾道に問題がないか確認します。

①



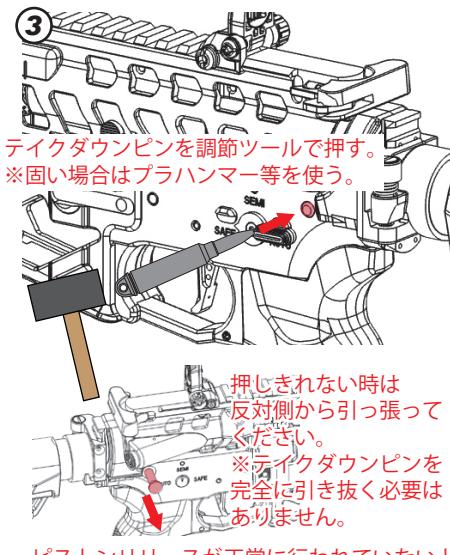
②



警告

この時、チャンバー内に弾が装填されて
いる場合発射されてしまいます。

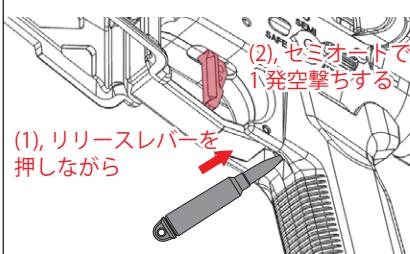
③



POINT

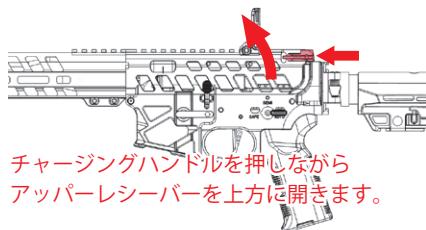
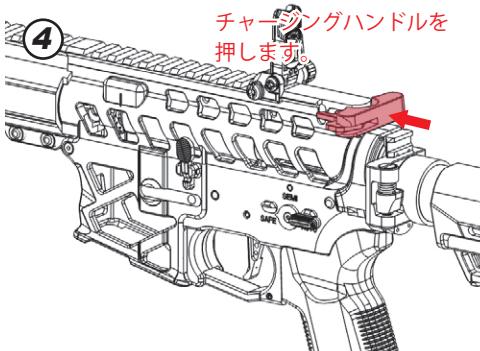
イクダウンができない ...

イクダウンピンが抜けない場合 ...



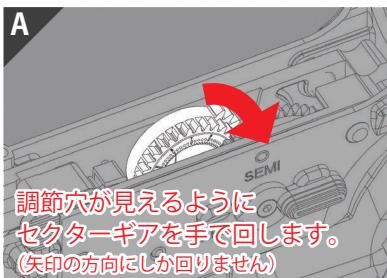
発射後に、『ウイン』とギアが回るよう
な音が聞こえたら調節ツールを抜き

③へ進んでください

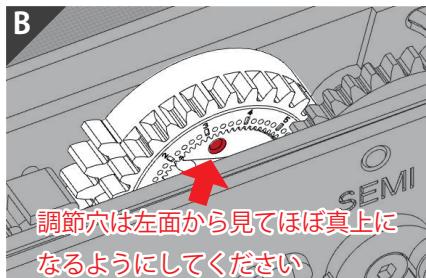


⑤ **警告**

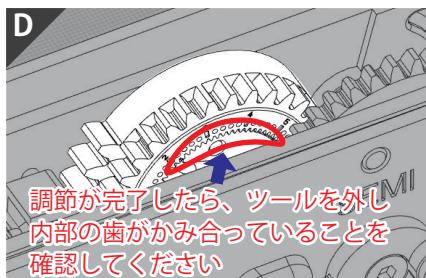
安全のため、バッテリーが接続されていないことを確認してください



回す際は手袋等を着用してください。
モーターに繋がっているため硬くなっています。

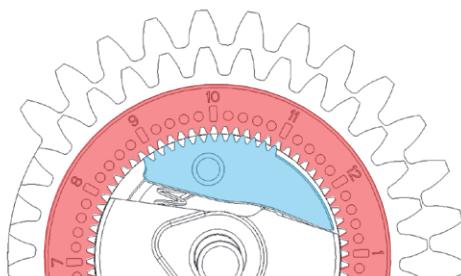


回しすぎてしまった場合はセクターギアを
もう一周させてください。

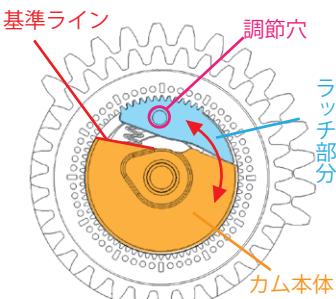


(右図) 歯がかみ合っていない状態

調節ツールを用いて歯がかみ合う
ようにしてください。



■プリコッキング調節について



ラッチ部分を押し下げることでカム本体が自由回転します。

ラッチ部分と連動するカム本体の角度を変えることでセミオートレスポンスの良さ（プリコッキング量）を調節できます。

調節が適切でないと、動作不良や命中精度低下の原因となります。

■MAP セクターギアの数値について

初期設定値を基準に回転方向に応じて、下記の通りプリコック量が変化します。

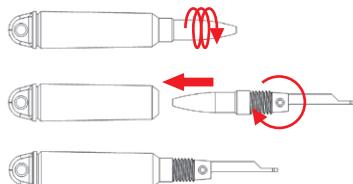
| | |
|-------|--------------|
| 時計回り | プリコッキングが弱くなる |
| 反時計回り | プリコッキングが強くなる |

※初期設定値はメーカー出荷時の数値となり、ロットや個体によって変わります。

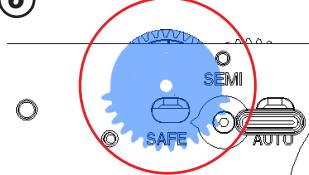
※一定の範囲を超えて回すとプリコックの強弱が逆転します。

■調節ツールについて

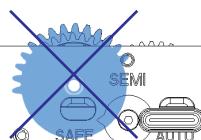
調節ツールは弾頭部をネジのように回転させる事で取り外し、逆方向に挿し込む事でセクターギアのカム部分の角度を調節できる状態になります。



⑥



セクターギアの大きな歯を下方向に回してから閉じます。



このまま閉じることはできません。
無理に閉じると故障の原因になります。



⑦



弾道が不安定になる場合、
プリコッキングの強さを
変えて様子を見てください。

セミオートで2発発射され
しまう場合、プリコッキング
を弱めてください。

POINT

プリコッキング調節後、弾道が安定しない、オーバーランしてしまう、プリコッキング解除ができない、ティクダウンがない、元に戻せない等お困りなことがある場合は『困ったときは、その他』のページをご確認ください。

■使い終わったら

使用後は以下の手順で銃の保全を行ってください。

- ①銃口の安全を確保します。
- ②マガジンを外し、2~3発程度空撃ちを行い、残弾を除去します。
- ③バッテリーを外します。
- ④銃口の安全に注意しながら、ピストンリリースレバーを操作し、
プリコッキングを解除します。
- ⑤HOP ダイヤルを矢印を反対方向に回し切り、HOP をゼロ状態にします。

特にプリコッキング状態のまま長期間経過すると、メインスプリングが弱くなり銃の威力が低下してしまいます。使用後はプリコッキングを解除してください。

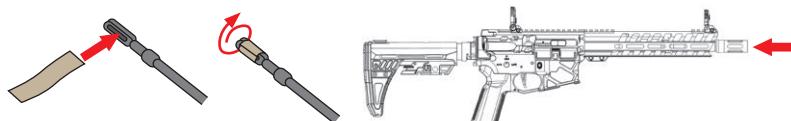
お手入れ、その他の調節について

使用後に本体が汚れてしまった場合、付着した汚れを拭き取って保管してください。
なお、内部の清掃についてはある程度の技術が必要となります。

※内部の清掃作業によって動作に悪影響を及ぼしたり、場合によっては故障の原因となる場合もございますので、ご不安な方は弊社サポートにご相談ください。

■バレルの清掃方法

長期間の使用や、悪条件によってインナーバレル内に汚れが溜まってしまった場合、付属のクリーニングロッドを用いてバレル内の清掃を行ってください。



■クリーニングロッドの使い方

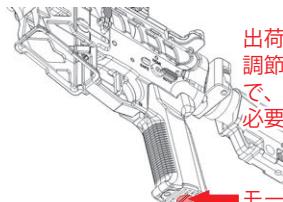
市販のメガネ拭きのような繊維が残らない布を、約 1cm×3cm 程度にカットし、ロッド先端に巻きつけます。その後、銃口からロッドを慎重に差し込み、バレル内を清掃します。

ご注意ください

布の巻き付け量が多く、太いクリーニングロッドを差し込んだり、クリーニングロッドを回転させると、インナーバレルがずれたり HOP パッキンが損傷する場合があります。

■モーター位置の調節について

グリップ底部にはモーター位置調節用のネジがあります。長時間の使用によりモーター位置がずれてしまった場合、このネジを回すことで位置調節を行うことができます。



出荷前に最適な位置に
調節されていますの
で、基本的に触る
必要はありません。

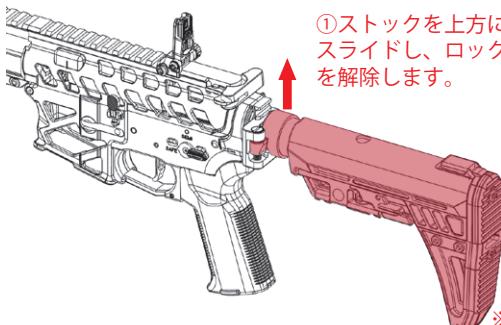
警告

モーター位置調節ネジを安易に回すと故障の原因となります。通常は触らないでください。

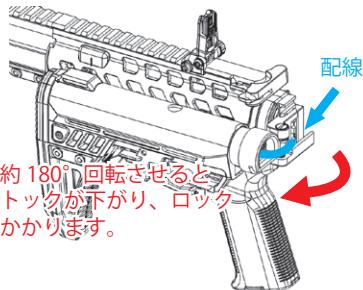
■ストックのカスタマイズ

C.A.T.シリーズでは様々な用途に応じてストックを調節することができます。

■ストックの折りたたみ



①ストックを上方に
スライドし、ロック
を解除します。



②約180°回転させると
ストックが下がり、ロック
がかかります。

※戻す場合もストックを持ち上げてください。

ご注意ください

ストックを折りたたむ際や戻す際、配線を挟み込まないように注意してください。特にバッテリーの収納状況によっては配線の逃げがなくなり、急な開閉操作によって断線やショートを起こす可能性があります。ゆっくり丁寧に行ってください。

■ストックの高さ調節



ストックの基部はレシーバー側でピカティニー規格のレール仕様になっており、高さを調節できるようになっております。



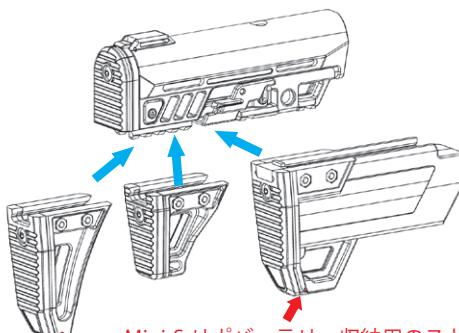
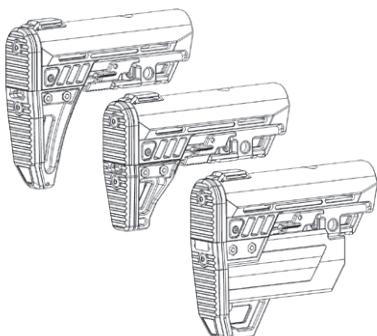
ストック側の基部の六角ネジを外し、好みの高さで固定しなおしてください。

ご注意ください

基部の内側に配線が通っています。
作業の際に挟み込んで断線させない
ように充分注意してください。

■MPSストックについて

MPS (Multi Purpose System) ストックはモジュール構造となっており用途に併せて組み替えることができます。



Mini-Sリポバッテリー収納用のストレージモジュールを取り付ける際、矢印のピンを外してバットプレートを移植してください。

■トラブルシューティング

代表的なトラブルケースについて事例と原因、対処方法を以下にまとめます。
なお、項目に「※要修理」と記載がある場合は弊社サポートにご相談ください。

■トリガーが反応しない

・セミロック現象が発生している場合

…セミオート射撃時に内部スイッチが OFF になった状態で射撃が完了していないため、トリガーを引いても通電されず、作動しません。この場合、フルオート射撃を行う事で再び射撃を行うことができるようになります。

・ピストンロックが発生している場合

…何らかの原因で、ピストンの前進が完了する前にギアの回転が追いつき、次のコッキングが重なってしまう事でピストンを本来よりも引きすぎてしまい、物理的な可動域を超えてロックしてしまいます。この場合、ピストンリリースレバーを操作してピストンをリリースしてください。(不可能な場合もありますので、基本的には弊社サポートまでご相談ください) また、この問題が発生した際には弾づまりの発生、HOP のかけ過ぎ、バッテリーの出力が過大である場合が考えられます。

・ギアロックが発生している場合 **※要修理**

…ティクダウンを行いギアが完全に動かせない状態の場合、何らかの故障によるギアロックが発生している可能性があります。

・バッテリーに問題がある場合

…バッテリーの残量不足、または出力不足により動作しない場合があります。充電及び適正スペックのバッテリーに交換してください。

…バッテリーの寿命により出力不足の場合があります。その際は新品に交換してください。

…バッテリーの出力が過大でショートや物理故障が発生している場合は保証対象外です。

・バッテリー端子に問題がある場合

…端子内部のピンの緩みや異常により接触不良が発生している場合、端子の修理を行うか別のバッテリーに交換してください。

・本体端子や配線に問題がある場合 **※要修理**

…本体側の端子や配線に問題があり通電不良が発生している場合、修理が必要となります。

・モーター位置が不適切な場合 **※要修理**

…長期の使用によりモーター位置調節ネジの固定が緩み、モーター位置がメカ BOX 側にずれてしまった場合や故意に締め込んでしまった場合、モーターのピニオンギアとベルギアの接地圧が強すぎてモーター回転が阻害されます。モーター位置調節ネジを調節するか、弊社サポートにご相談ください。

・モーター寿命やスイッチ焼けの場合 **※要修理**

…メインスイッチの端子部分が焼損した場合スイッチ ASSY の交換が必要となりますので弊社サポートにご相談ください。

…長期の使用によりモーター寿命が尽きている場合、ブラシやモーター本体の交換が必要となりますので弊社サポートにご相談ください。

■セミオートが2重発射されてしまう（オーバーラン）

・プリコッキング強度が強すぎる場合

…プリコッキング強度が強すぎて、ピストンを引きすぎている状態です。プリコッキング強度を下げてください。

・バッテリー出力が過大の場合

…バッテリーの出力が過大すぎて、モーターのスピードが高すぎる状態です。適切な出力のバッテリーに交換してください。

・トリガーの引きが浅い場合（チャタリング）

…トリガーの引く力が弱く、スイッチの半押し状態により連打されている可能性があります。トリガーをしっかりと最後まで引いてください。

■セミロックが発生してしまう

・トリガーを戻すタイミングが早すぎる場合

…セミオート動作が完了する前にトリガーを戻した際、内部のスイッチがOFF状態のままになってしまうと、トリガーを引いても通電されません。フルオート射撃を行い解除し、セミオート動作が完了するまで指を戻さないように射撃方法を改善してください。

・トリガーの引きが浅い場合

…トリガーの引く力が弱く、スイッチの半押し状態により適切に通電されずセミオート動作が完了しない場合があります。トリガーをしっかりと最後まで引いてください。

・プリコッキング強度による場合

…プリコッキング強度が適切でないとセミロックが発生しやすくなる場合があります。この場合、プリコッキング強度を再調節してください。

■弾道が安定しない

・プリコッキング強度による場合

…プリコッキング強度が適切でないとノズルの動作が影響を受け、射撃毎のBB弾の装填状況が不安定になり、結果として弾道に影響を与える場合があります。この場合、プリコッキング強度を再調節してください。

・HOPが全くかかっていない場合

…HOPが全くかかっていない場合、チャンバー内で装填されたBB弾が保持できずに弾道が不安定になります。ある程度HOPをかけるようにしてください。

・他社製マガジンによる相性問題の場合

…マガジンによってはBB弾を押し上げるテンションが異なり、ノズル動作やチャンバーへの装填動作に悪影響を及ぼす場合があります。純正マガジンをご利用ください。

・BB弾の異常や相性問題の場合

…開封後時間が経過し劣化したバイオBB弾や、汚れや経年劣化したBB弾は弾道に悪影響を与えるばかりか、故障の原因となります。常に新しいBB弾をご利用ください。

…指定製品（東京マルイ製もしくはG&G製BB弾）以外をご使用の場合、保証対象外となります。指定製品をお使いください。

・バレル内に汚れが付着している場合

…バレル内の汚れを清掃してください。クリーニングで取れない汚れがある場合は弊社サポートにご相談ください。

・HOPパッキンに問題が発生している場合 **※要修理**

…HOPパッキンの汚れ（クリーニングで改善できない場合）や劣化、損傷による異常が発生している場合、交換が必要ですので弊社サポートにご相談ください。

■弾詰まりが発生してしまう

・HOP のかけ過ぎの場合

…HOP 調節が強すぎて、HOP パッキン部分での抵抗が過大になっている場合、
HOP を弱めてください。

・寒さによる影響の場合

…気温が約 20 度を下回ると HOP パッキン等に使用されている素材の特性が変化します。
特に 10 度以下の気温の場合、HOP をかけると弾詰まりが発生しやすくなります。その場合、
若干 HOP をかけた状態でしばらく射撃し、HOP パッキンを温めてから調節してください。

・BB 弾に問題がある場合

…劣化している BB 弾や、指定製品（東京マルイ製か G&G 製 BB 弾）以外を利用すると弾づまりが発生する場合があります。新品の指定製品をご利用ください。

・HOP パッキンに問題がある場合 **※要修理**

…HOP パッキンの劣化や損傷により弾詰まりが発生している場合、パッキンの交換が必要です
ので弊社サポートにご相談ください。

・適切な圧縮エアが発生していない場合 **※要修理**

…銃口からエアがほとんどでない場合、修理が必要ですので弊社サポートにご相談ください。

■初弾が発射されない

・必ず最初の 1 発が発射されない場合

…ブリッキング状態の場合、発射の後に装填動作が行われます。このため必ず初弾が発射されない状態となりますが異常ではありません。

■テイクダウンできない

・アップペーメカ BOX の前進量が足りない場合

…チャージングハンドルを押し、アップペーメカ BOX を僅かに前進させる事でロアレシーバーとの干渉を解除しテイクダウンできるようになります。

・ブリッキングが完全に解除できていない場合

…グリップ付け根のピストンリリースレバーを調節ツールで押しながら、セミオートで 1 発撃ち、空撃ち後に「ウィン」という音が鳴ったらピストンリリースレバーを戻してください。
これにより、ブリッキングが完全に解除されテイクダウンできるようになります。

・テイクダウンピンが完全に抜けていない場合

…抜けかけているテイクダウンピンをレシーバー右側からつまんで引っ張ってください。
(抜けないようになっていますので、無理に引き抜こうとしないでください。) テイクダウンピンが硬くて抜けてない場合は、前項「ブリッキングが完全に解除できていない場合」をお試しください。

■テイクダウンから組み戻せない

・タペットプレートがセクターギアの一部にぶつかっている場合

…セクターギアの位置によってはタペットプレートがセクターギアの一部に干渉してしまうため、セクターギアを少し動かして干渉を回避してください。

・セクターギアの歯が真下を向いていない場合

…セクターギアを回転させ、セクターギアの大きい歯が真下を向くようにしてください。

・チャンバーやアップペーメカ BOX がきちんと収まっていない場合

…チャンバーやアップペーメカ BOX を適切にアップレシーバー内に収めてください。

■故障かなと思ったら

修理やメンテナンスのご相談は弊社サポート窓口のみにて承ります。

詳しくは付属の『弾速・性能証明書 / 販売証明書』をご確認ください。

なお、その際は以下の必要項目をご確認ください。

■修理やメンテナンスの依頼に必要なもの

- ・弾速・性能証明書 / 販売証明書
 - ・C.A.T. 本体
 - ・マガジン

■弊社サポート窓口

總代理店：有限会社 SPARK

eMAIL : support@catairsoft.com

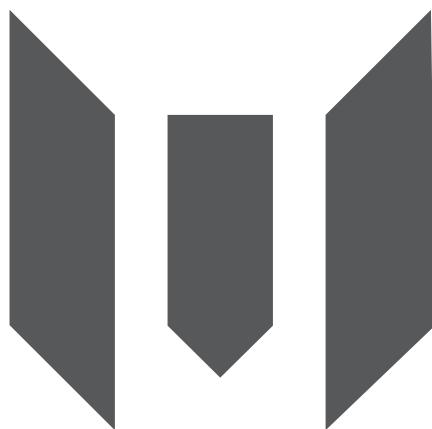
※メールでのご相談が難しい方は、恐れ入りますが販売店へご相談をお願いいたします。

■メンテナンス（オーバーホール）の目安

通常の使用で概ね 2 万発程度の射撃でメンテナンスが必要になります。

弊社サポート窓口までご相談ください。

- MEMO -



Supervised by
ASPART